



平成29年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社
 コード番号 1994 URL <http://www.t-cw.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 武治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 市川 尚

TEL 03-3271-1711

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

平成29年9月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	3,413	34.8	457	50.1	534	42.2	368	60.1
28年12月期第2四半期	5,237	1.5	918	0.3	925	0.1	925	2.8

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 367百万円 (59.4%) 28年12月期第2四半期 906百万円 (0.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	42.24	
28年12月期第2四半期	103.97	103.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	11,460	7,105	62.0	813.48
28年12月期	11,274	6,825	60.5	781.39

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 7,105百万円 28年12月期 6,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		10.00		10.00	20.00
29年12月期		10.00			
29年12月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	1.3	900	23.7	950	21.1	600	60.7	68.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	9,553,011 株	28年12月期	9,553,011 株
期末自己株式数	29年12月期2Q	817,763 株	28年12月期	817,763 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	8,735,248 株	28年12月期2Q	8,901,748 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本の経済は、企業業績が堅調に推移し、雇用・所得環境も改善する等景気は緩やかな回復基調にあります。一方、海外では欧米における政治的不透明感や北朝鮮・中東をめぐる地政学リスク等により世界経済の不確実性は依然高く、引き続き予断を許さない状況が続いております。

建設業界においては、ゼネコンの最高益更新が目につき、来年、オリンピック需要の盛り上がりが見込まれるものの、足元の建設需要が落ち込んでおり、サブコン各社においては対応に苦慮しているケースが多数発生しています。

PCカーテンウォール業界も当面、仕事量はそれほど多くないため、各社、工場の稼働率がそれほど高まっておらず、製造する案件の確保が至上命題となっています。また、工場の効率化推進、新商品の開発により、収益力の維持向上、マーケットの拡大を図ってゆきます。

当第2四半期連結累計期間における売上高は34億13百万円（前年同四半期比34.8%減）、営業利益4億57百万円（前年同四半期比50.1%減）、経常利益5億34百万円（前年同四半期比42.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億68百万円（前年同四半期比60.1%減）となりました。

なお、受注高は44億87百万円（前年同四半期比7.2%減）、受注残高は129億38百万円（前連結会計年度末比9.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、主に一般管理費及び全社費用の配賦基準等を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。このため、以下の前年同四半期との比較については、前年同四半期の数値を変更後の測定方法により作成した数値で比較しております。

①PCカーテンウォール事業

当第2四半期連結累計期間においては、前期より工場稼働率が低かったため、前期比売上・利益率ともに低下したものの効率的なオペレーションを行ったため、良好な収益構造を維持できました。

当セグメントの売上高は31億23百万円（前年同四半期比38.1%減）、セグメント利益は4億45百万円（前年同四半期比51.1%減）となりました。

②アクア事業

当第2四半期連結累計期間においては、学校関連及び健康増進施設のプールの新設の他メンテナンスや改修の受注が堅調に推移しております。

当セグメントの売上高は2億51百万円（前年同四半期比72.2%増）、セグメント利益は19百万円（前年同四半期は4百万円の損失）となりました。

③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業（不動産賃貸事業を含む）であります。

当セグメントの売上高は38百万円（前年同四半期比19.0%減）、セグメント損失は11百万円（前年同四半期は8百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は114億60百万円と前連結会計年度末と比較して1億85百万円の増加となりました。これは主に、現金預金が2億49百万円減少したことと、未成工事支出金が4億71百万円増加したことによるものであります。

②負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は43億54百万円と前連結会計年度末と比較して94百万円の減少となりました。これは主に、未成工事受入金が2億53百万円増加したことと、短期借入金が3億25百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は71億5百万円と前連結会計年度末と比較して2億80百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により3億68百万円増加したことと、配当金の支払いにより87百万円減少したことにより2億81百万円増加したことによるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して9億円減少して9億98百万円(前年同四半期比47.4%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に未成工事支出金の増加額4億71百万円、税金等調整前四半期純利益の計上5億23百万円及び未成工事受入金の増加額2億53百万円により2億89百万円の資金増加(前年同四半期比77.6%減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に有形固定資産の取得による支出1億55百万円、投資有価証券の売却による収入15百万円により1億35百万円の資金減少(前年同四半期は1億16百万円の資金減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に長期借入金の返済による支出2億41百万円、社債の償還による支出72百万円及び配当金の支払額87百万円により4億3百万円の資金減少(前年同四半期は4億66百万円の資金減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月10日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,247,957	998,066
受取手形・完成工事未収入金等	769,821	659,895
電子記録債権	1,117,769	1,408,926
未成工事支出金	2,902,052	3,373,730
その他のたな卸資産	66,809	59,448
その他	399,301	243,023
流動資産合計	6,503,711	6,743,090
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	550,281	533,366
土地	1,852,949	1,839,951
その他(純額)	403,825	374,754
有形固定資産合計	2,807,056	2,748,072
無形固定資産		
	47,379	44,798
投資その他の資産		
投資有価証券	205,168	204,123
保険積立金	822,027	839,670
投資不動産(純額)	126,155	125,709
退職給付に係る資産	100,232	104,141
その他	692,142	679,860
貸倒引当金	△28,917	△28,917
投資その他の資産合計	1,916,809	1,924,588
固定資産合計	4,771,244	4,717,459
資産合計	11,274,955	11,460,550
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	795,441	927,763
短期借入金	1,005,811	680,555
1年内償還予定の社債	122,500	100,000
未成工事受入金	758,511	1,011,549
引当金	58,920	46,938
その他	257,480	146,919
流動負債合計	2,998,664	2,913,726
固定負債		
社債	260,000	210,000
長期借入金	563,000	647,000
役員退職慰労引当金	415,892	426,922
その他	211,770	156,944
固定負債合計	1,450,662	1,440,866
負債合計	4,449,327	4,354,592

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	3,642,609	3,924,236
自己株式	△238,389	△238,389
株主資本合計	6,787,582	7,069,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,046	36,747
その他の包括利益累計額合計	38,046	36,747
純資産合計	6,825,628	7,105,957
負債純資産合計	11,274,955	11,460,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
完成工事高	5,237,041	3,413,572
完成工事原価	3,967,684	2,597,080
完成工事総利益	1,269,356	816,491
販売費及び一般管理費	350,999	358,683
営業利益	918,357	457,807
営業外収益		
受取利息	262	265
受取配当金	1,275	1,241
投資有価証券売却益	-	7,102
保険解約返戻金	143	-
投資不動産賃貸料	3,981	3,954
受取家賃	6,336	5,984
鉄屑売却収入	7,998	9,965
テナント退店違約金受入益	-	55,400
その他	8,045	7,238
営業外収益合計	28,043	91,152
営業外費用		
支払利息	14,427	9,899
不動産賃貸費用	1,888	1,702
その他	4,810	2,823
営業外費用合計	21,126	14,425
経常利益	925,274	534,534
特別損失		
固定資産売却損	-	9,923
固定資産除却損	2,203	1,372
特別損失合計	2,203	11,295
税金等調整前四半期純利益	923,071	523,239
法人税、住民税及び事業税	3,888	3,888
法人税等調整額	△6,348	150,370
法人税等合計	△2,459	154,259
四半期純利益	925,531	368,979
親会社株主に帰属する四半期純利益	925,531	368,979

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	925,531	368,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,854	△1,298
その他の包括利益合計	△18,854	△1,298
四半期包括利益	906,677	367,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906,677	367,680

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	923,071	523,239
減価償却費	74,441	90,470
固定資産売却損益(△は益)	-	9,923
固定資産除却損	120	55
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,030	11,030
引当金の増減額(△は減少)	△1,402	△11,982
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	17,311	△3,909
受取利息及び受取配当金	△1,538	△1,507
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△7,102
テナント退店違約金受入益	-	△55,400
支払利息	14,427	9,899
売上債権の増減額(△は増加)	541,382	△181,230
未成工事支出金の増減額(△は増加)	1,469,246	△471,678
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	1,458	7,360
保険積立金の増減額(△は増加)	△10,195	△17,642
その他の資産の増減額(△は増加)	2,687	18,008
仕入債務の増減額(△は減少)	△176,088	132,322
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△1,370,755	253,037
その他の負債の増減額(△は減少)	△179,952	1,272
その他	10	-
小計	1,315,255	306,166
利息及び配当金の受取額	1,698	1,607
利息の支払額	△14,723	△10,210
法人税等の支払額	△10,293	△7,717
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,291,937	289,846
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△108,489	△155,145
有形固定資産の売却による収入	-	9,040
無形固定資産の取得による支出	△12,935	-
投資有価証券の取得による支出	-	△6,444
投資有価証券の売却による収入	-	15,389
関係会社株式の売却による収入	6,000	-
投資不動産の売却による収入	1,000	-
貸付けによる支出	△9,300	△1,350
貸付金の回収による収入	6,820	2,570
その他	100	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,805	△135,938

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△300,000
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△210,215	△241,255
社債の償還による支出	△72,500	△72,500
建設協力金の返済による支出	△4,564	△2,964
ストックオプションの行使による収入	187	-
配当金の支払額	△177,328	△87,079
その他	△2,227	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△466,648	△403,798
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	708,473	△249,890
現金及び現金同等物の期首残高	1,190,329	1,247,957
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,898,802	998,066

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,043,355	146,219	5,189,574	47,466	5,237,041	—	5,237,041
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2,500	2,500	△2,500	—
計	5,043,355	146,219	5,189,574	49,966	5,239,541	△2,500	5,237,041
セグメント利益又はセグメント損失(△)	911,400	△4,117	907,283	8,673	915,957	2,400	918,357

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額2,400千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,123,408	251,728	3,375,137	38,434	3,413,572	—	3,413,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,123,408	251,728	3,375,137	38,434	3,413,572	—	3,413,572
セグメント利益又はセグメント損失(△)	445,232	19,682	464,914	△11,306	453,607	4,200	457,807

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額4,200千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適正に評価するため、主に一般管理費及び全社費用の配賦基準等を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。

当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しており、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間に開示したセグメント情報の利益又は損失の算定方法との間に相違が見られます。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。